

要領様式第2号

出張報告届

令和2年2月10日

吹田市議会議長様

会派名 無所属クラブ

出張者氏名 生野 秀昭

印

印

印

印


印

印

印

下記のとおり出張したので届け出ます。

記

出張先	たましんRISURUホール（東京都立川市）		
期間	令和2年 1月27日から 1月28日まで 2日間		
出張の成果	別紙のとおり		
備考		認 印	会派代表者
			



報告書

無所属クラブ 生野 秀昭

議員の学校 特別版・社会保障講座

日時 令和2年1月28日~29日
会場 東京都立川市 たましんリスルホール
主催 NPO法人 多摩住民自治研究所

講義 1日目

① 社会保障充実を求める住民の活動

講師 原富 悟 埼玉県社会福祉推進協議会副会長

内容 日本国憲法の人権規定、国際法における人権規定と障害者の権利条約、障害者基本法の原則から、埼玉県社会福祉推進協議会の活動実践から、住民の主体的な取り組みについて。

② 貧困問題と生活保障の課題

講師 石川満 日本福祉大学元教授

内容 年金制度と生活保障制度の現状、諸外国の所得補償制度、増え続ける高齢者等の貧困問題と生活保護の改善課題から、我が国の少子高齢化と今後の社会保障給付費について。

③ 交流会

講師 石川満 日本福祉大学元教授

内容 会食しながら、参加者其々の地方自治体に於ける諸課題についての意見交換。

2日目

① 社会保障給費削減は住民生活に何をもたらすか

講師 石川満 日本福祉大学元教授

内容 政府の新年度予算・都道府県・市町村の財政状況の下、社会福祉・社会保障の在り方から、その財源問題と継続的な取り組み。

② 障害のある人の権利を取り巻く課題

講師 池上 洋通 「議員の学校」学校長

内容 日の市民条例（市民案）を参考に、障害のある人も無い人も共に日常生活および社会生活が出来るための、障害者の人権と市町村の任務について。

③ 子どもの貧困と子どもの権利を取り巻く課題

講師 浅井 春夫 立教大学名誉教授

内容 子どもの権利条約から、国際的な課題としての政策的につくり出される子どもの貧困とは何か。家庭環境を奪われた子どもの保護、国・地方自治体の取り組むべき課題について。

④ 全体質疑

2日間の講義の内容から、今後どの様に、其々の自治体で活かせば良いのか。どう展開し、どう創り上げるのか、条例制定への取り組みについての内容であった。

総評 資料として多くの法令、事例などが挙げられた研修、課題検討であったが、吹田市でも民生費が歳出の半分を超える算編成の下、これらのみに特化して取り組んだ場合、更に民生費の増大は避けられず、見方によっては、講義の内容が非現実的で飛躍した内容とも捉えられた。

今後、限られた財源の下、憲法第25条から貧困者の保護をどう捉えどう為すべきか。年金額が生活保護費と比べ大きく下回る現実から、一方で、市民サービスを求める納税市民から、果たして共感が得られるか否や。

講義内容は、単に現政権を非難し批判的思想を強調し夢物語的な課題や理想を追うことで、果たして正しいのか現実的なのかと思う様なイデオロギー的な講義内容・主張も多く見られた。

その中で社会的弱者に対し今後どう捉えるか、これらの社会保障・社会福祉の歴史的発展は、これらの社会運動の歴史であったことも忘れてはならない。